

平成26年度 スーパーグローバル大学等事業 スーパーグローバル大学創成支援
審査結果表

大学名	東京医科歯科大学	申請区分	タイプA
構想名	TMDU型グローバルヘルス推進人材育成構想：地球規模での健康レベル向上への挑戦		

〔評価コメント〕

本構想は、国立大学で唯一の医療系総合大学として、日本が保健医療分野において「世界規模での健康レベル向上」に向けて、グローバルヘルス関連科目の増設、デザイン思考教育や反転授業の展開等、実践的な学部レベルの教育の国際化を進めるとともに、大学院では「グローバルヘルスリーダー養成コース」の新設を行う等、国内外から優秀な人材を引き付け、次世代のグローバルヘルス推進人材を育成するという目標を掲げた極めてユニークで期待される取組となっている点は評価できる。

また、大学の国際化に向けての戦略に沿って、海外教育機関よりグローバルヘルス教育研究推進ユニットを誘致するとともに、学部では二カ国語履修化を進め、大学院科目の59%を英語化し、更には、グローバルヘルスリーダー養成コース（仮称）では医学科・歯学科学士課程と修士課程を組み合わせたデュアルディグリープログラムを用意し、海外大学とのジョイントディグリープログラムを開発・展開する等、本格的なグローバル化対応の国際化を計画している点も意欲的である。

一方で、成果指標と達成目標において、医療系大学のミッションに基づくカリキュラムの実施という制約の中で、国際展開し難い点が多々あり、他のタイプA採択大学と比較すると低位となっていることは事実である。医学教育改革の取組としては評価できるが、グローバルヘルスを担う教育研究拠点の形成が、大学全体の国際化とガバナンス改革にどのような影響を及ぼすのか明確になっていない。また、欧米トップ教育機関から若手研究者の招へい等、世界大学ランキング向上のための戦略は見られるが、本事業の目的を達成するためには、学事暦、渡日前入試、入学許可、国際公募等の成果指標と達成目標についても、一層検討し、準備する必要がある。

学生をグローバルヘルス推進人材として育成する上で、外国人留学生が少ない中でどのようにして海外の医学生と交流・接触させることができるのかについての工夫や海外留学支援体制の整備が求められる。

最後に、今回「スーパーグローバル大学創成支援」に採択された貴学におかれては、10年後の大学の姿を見据え、徹底した「大学改革」と「国際化」を断行し、我が国の高等教育の国際競争力の向上に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、構想内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。